

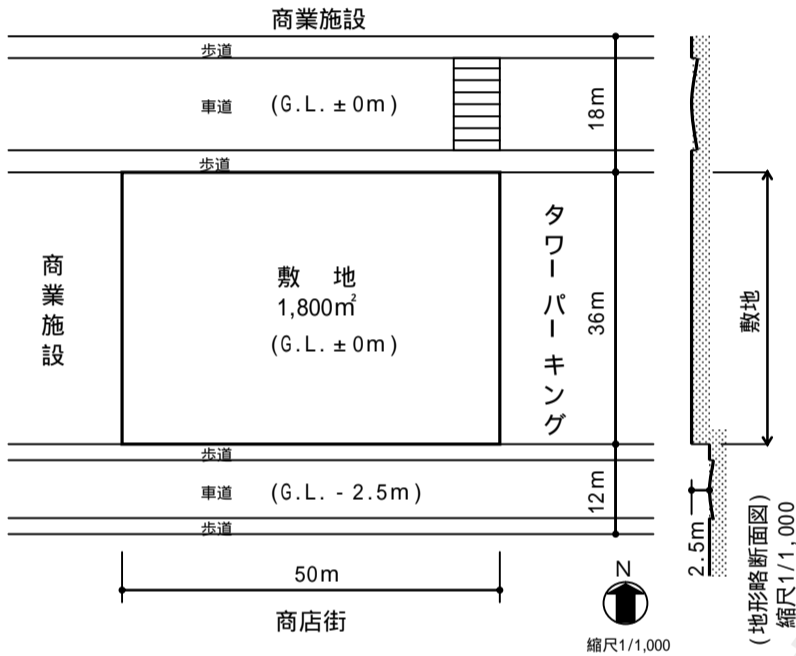
設計条件

この課題は、大都市近郊の市街地において、ビジネスホテルと一般市民の健康の維持・増進のための会員制のフィットネスクラブ(利用時間は、午前10時から午後10時までとする。)からなる複合施設を計画するものである。計画に当たっては、特に次のことが求められている。

建築物内の空間構成においては、敷地と南側道路との高低差を有効に活用した計画とする。
ビジネスホテル部門及びフィットネスクラブ部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。
高齢者、障害者等の利用に配慮した計画とする。
建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
北側 - 道路(幅員18m)を挟んで、商業施設がある。
東側 - タワーパーキングがある。
南側 - 道路(幅員12m)を挟んで、商店街がある。
西側 - 商業施設がある。
- (2) 敷地は、平坦で、北側道路及び隣地との高低差はないものとし、南側道路は敷地から2.5m低い位置にある。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとし、南側敷地境界線には擁壁があり、適宜撤去できるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。
また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は300%である。
なお、日影についての特別の配慮はしなくてよい。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好である。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	設置階	特記事項
ビジネスホテル部門	シングルルーム(計60室)	計約1,200㎡	2~5階	・各階に15室(約20㎡/1室)設ける。 ・バス・トイレ・洗面台付きとする。
	ツインルーム(計16室)	計約480㎡	2~5階	・各階に4室(約30㎡/1室)設け、内1室は、車いす使用者の利用に配慮したユニバーサルルームとする。 ・バス・トイレ・洗面台付きとする。
	自動販売機コーナー	適宜	2~5階	・各階に設ける。
	リネン室	計約60㎡	2~5階	・各階に1室(約15㎡/1室)設ける。
	軽食・喫茶室	約120㎡	1階	・外部からも直接利用できるようにする。 ・厨房を設ける。
	玄関ホール	適宜	1階	・宿泊客がフィットネスクラブ部門のプール室を見下ろせるように計画する。 ・風除室を設ける。
	フロント	約20㎡	1階	・カウンターを設ける。
	事務室	約50㎡	1階	・フロントに隣接させる。
	従業員室	適宜	1階	・男性用、女性用として各1室設ける。
	便所(1)	適宜	1階	
フィットネスクラブ部門	倉庫(1)	適宜	1階	
	荷解き室	適宜	1階	
	プール室	約250㎡	地下1階	・サービス用エレベーターとの動線に配慮する。 ・プールは、長さ15m、幅8m、最深1.2mとする。 ・天井高(天井のない場合は、梁下端までの高さ)は、最低部分の高さを6m以上とする。 ・自然採光が十分に採れるように計画し、トップライトも設ける。 ・プール室の入口に足洗槽を設ける。
	トレーニングジム	約120㎡	1階	・運動器具を利用して、トレーニングを行う。
	器具庫	適宜	1階	・トレーニングジムに隣接させる。
	スタジオ	約150㎡	地下1階	・エアロビクス、ダンス、ヨガ、太極拳等多目的に利用する。 ・天井高3m以上の無柱空間とする。
	収納庫	適宜	地下1階	・スタジオに隣接させる。
	更衣室	計約160㎡	地下1階	・男性用、女性用として2室(約80㎡/1室)を設ける。 ・プール室、トレーニングジム、スタジオの利用者が使用する。 ・プール室と更衣室との間の動線に配慮する。 ・ロッカー、洗面台、シャワー、便所を設ける。
	休憩ラウンジ	約60㎡	地下1階	・プール室を見渡せるように計画する。 ・自動販売機を設置する。
	受付コーナー	適宜	地下1階	・利用者の入退館の管理・受付を行う。
スタッフルーム	約40㎡	1階	・エントランスホール(1)が見渡せる位置に計画する。	
その他	エントランスホール(1)	適宜	1階	・風除室を設ける。 ・スタッフルームとの関係に配慮する。
	エントランスホール(2)	適宜	地下1階	・風除室を設ける。 ・25㎡以上の吹抜けを設ける。
	便所(2)	適宜	1階及び	
	倉庫(2)	適宜	地下1階	
	電気・機械室	適宜	地下1階	・ドライエリアを付設する。 ・設備計画に応じた規模とする。

(注)上記の床面積の合計(適宜を除く。)は、約2,710㎡となる。

要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

2. 建築物

- (1) 地下1階、地上5階建ての1棟の建築物とし、床面積の合計は、4,200㎡以上、4,700㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、ポーチ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (2) 構造計画(構造種別は自由とする。)については、適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次のとおりとする。
空気調和設備、衛生設備、電気設備については、適切に計画する。
エレベーターは、次のとおり計画する。
イ. ビジネスホテル部門には、宿泊客用として乗用2基、サービス用として人荷用1基を設ける。
ロ. フィットネスクラブ部門には、乗用1基を設ける。

3. その他の施設等

- (1) カフェテラス(30㎡以上)を、ビジネスホテル部門の軽食・喫茶室の屋外に設ける。
- (2) 駐車場は、次のとおりとする。また、利用者用及び従業員用の駐車場については、隣地のタワーパーキングを利用するものとし、考慮しなくてよい。
ビジネスホテル部門用の駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。
フィットネスクラブ部門用の駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。
- (3) ごみ置場を設ける。
- (4) (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)地上1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。室名等を記入する。 パイプシャフトの位置を図示し、P Sと記入する。 地上1階平面図は敷地の北側の配置図を兼ねるものとする。 地下1階平面図は、敷地の南側(上記以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。
(2)地下1階平面図兼配置図 1/200	平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. カフェテラス(面積を記入し、テーブル、いす等を図示する。) ニ. ドライエリアの位置 ホ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ヘ. ごみ置場 ト. 通路・植栽等
(3)基準階平面図(2~5階) 1/200	シングルルーム、ツインルーム、軽食・喫茶室、プール室、トレーニングジム、スタジオ、更衣室、休憩ラウンジの床面積を記入する。 宿泊室については、次のものを図示する。 イ. 代表的なシングルルーム1室の室内プラン ロ. ツインルーム(ユニバーサルルーム)の室内プラン ハ. 各室の出入口、P S ニ. 各シングルルームの表示(S ₁ 、S ₂ ~S ₁₅) ホ. 各ツインルームの表示(T ₁ 、T ₂ ~T ₄) 基準階平面図は、2階とし、直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示する。吹抜けとなる部分を図示する。
(4)断面図 1/200	切断位置は、プールを含み、建築物の全体の立体構成(地下1階~地上5階)及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 梁及びスラブの断面を図示する。なお、基礎については図示しなくてよい。

2. 計画の要点等

次の、について、計画の要点等を記述する。
構造計画について、採用した構造種別と構造計画上配慮したことの要点
設備計画について、採用した空調方式とその理由

3. 面積表

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。